



Banco MUFG Brasil S.A.
Treasury & Markets
Av. Paulista, 1274 – Bela Vista
São Paulo, SP – 01310-925

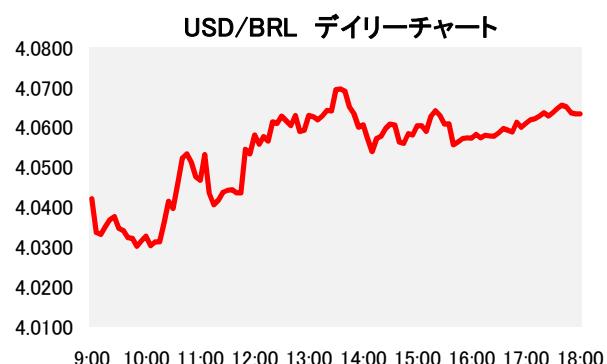
1. マーケット・レート

			9月6日	9月9日	9月10日	9月11日	9月12日	Net Chg
為替	USD/BRL	Spot	4.0620	4.0980	4.0820	4.0680	4.0640	-0.0040
	BRL/JPY	Spot	26.320	26.180	26.34	26.50	26.62	+0.12
	EUR/USD	Spot	1.1029	1.1049	1.1042	1.1009	1.1068	+0.0059
	USD/JPY	Spot	106.92	107.25	107.54	107.80	108.11	+0.31
金利	Brazil DI Future	6MTH(p.a.) 1Year(p.a.)	5.155 5.250	5.221 5.245	5.222 5.239	5.211 5.254	5.165 5.225	-0.046 -0.029
	On-shore USD	6MTH(p.a.) 1Year(p.a.)	2.734 2.467	2.761 2.480	2.771 2.536	2.763 2.531	2.793 2.570	+0.030 +0.039
株式	Bovespa指数	102,935.40	103,180.60	103,031.50	103,445.60	104,370.90	+925.30	
CDS	CDS Brazil 5y	123.81	123.41	124.66	124.25	120.40	-3.85	
商品	CRB指数	172.625	174.311	174.940	173.727	174.457	+0.73	

* これらはインターバンク市場等におけるブラジル市場終了時のインデイケーションです。実際のレート提示は弊行担当アカウント・オフィサーまでお問い合わせ下さい。

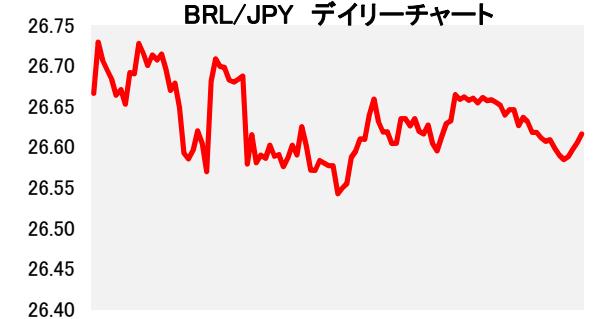
2. 主要経済指標

イベント	予想	実績	前回
IBGEサービス部門売上高	0.40%	1.80%	-3.60%
(米)CPI(前年比)	1.80%	1.70%	1.80%
(米)CPI除食品・エネルギー(前年)	2.30%	2.40%	2.20%
(米)新規失業保険申請件数	215k	204k	219k
(米)失業保険継続受給者数	1675k	1670k	1674k



3. 要人コメント

(特になし)	
--------	--



4. トピックス

- 本日のレアルは小幅に続伸。欧州中央銀行(ECB)は朝方に開かれた理事会で利下げや量的緩和の再開など包括的な追加金融緩和策の導入を決定。同決定を受けたリスクオンによりレアルは4.0390と強含んで寄り付き、直後に日中高値となる4.0290を付けた。その後も、トランプ大統領の側近らが追加関税の一部先送りや撤回につながる限定的な合意案の提示を検討したとの報道を背景にリスクオン基調が継続する反面、レアルは徐々に上げ幅を縮小し日中安値4.0680まで下落。リスク資産が買われるなか、レアルが売られた背景には大口のアウトフローがあった模様。その後は方向感なく推移し、結局4.0640でクローズした。
- この日ECBは、預資金利の10bps引下げ、金利階層化、月額200億ユーロの量的緩和再開、銀行への長期資金供給策(TLTROⅢ)の条件緩和といった包括的な緩和策を決定した。他方、金利階層化に関して最低準備金の6倍相当の金額まではゼロ金利が適用されることが明らかになったほか、ドラギ総裁が会合後の記者会見において今後は財政政策を主要な手段とする必要があると全会一致の認識に至ったと、金融政策の限界を示唆する発言をするなど、必ずしもハト派的と言い切れない内容となった。